

海上の森だより

特定非営利活動法人
海上の森の会 会報
第71号
2025年12月発行



本会は、愛知県や地域と協働で、海上の森の自然や文化を守り育てるために活動することを目的として設立したNPO法人です（定款より）

新春によせて

新年を迎えるにあたり、「あけましておめでとうございます」

会員の皆様、並びに関係者の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素は、「海上の森」の豊かな自然環境を守り育むための活動に、多大なるご理解とご協力を賜り、役員一同、厚く御礼申し上げます。

昨年は、各グループの団結のもと、「情報発信の強化、参加者を増やすための事業の再構築、会員自らが楽しく満足感が得られる活動など」を柱に、活動の展開を進めてきました。

会員皆さまのご努力により、今年度も残すところ3か月となり、令和7年度事業の締めくくりと、新年度を迎えるための準備期間に入ります。第3四半期を振り返り昨年度に比べると、多少なりとも活動が活性化してきております。これも、会員皆様のご努力のたまものと感謝いたします。

具体的には、情報発信において、SNS（インスタグラム、ホームページ）等による情報発信がかなり進み、新たな情報が逐次掲載されるようになってきました。SNS活用による参加者募集の拡充等も行うことができました。会員自らが「海上の森に咲く花を季節ごとに分類した資料」第1弾（9月から12月）が作られるなど、積極的な活動が行われました。

また、海上の森以外でのワークショップへの参加は、一昨年、昨年は2回でしたが、今年度はすでに4回（5日間）参加し、海上の森の紹介、森の会の活動の紹介、会員募集活動等を踏まえたワークショップを行ってきました。海上の森ツアー

ガイド・森の除伐体験等においても昨年度はありませんでしたが、今年度はすでに2回開催することができました。さらに今年度中に2回開催する予定が入っております。

新年を向かえ、里地・里山の保全、生物多様性の保全や湿地の維持管理、地域文化の伝承などの課題に対し、より一層具体的な取り組みを進め、愛・地球博の理念を継承し、県民や教育機関など多様な主体と連携した活動も引き続き積極的に展開していきたいと考えております。

今年度も余すところわずかとなりましたが、さらなる既存活動の推進と新たな活動を模索し、令和8年度事業への転換を進めていきたいと思います。

※インスタグラムでは、Instagramの検索で海上の森の会と入力して頂き名称をクリックしてください。……………（理事長 高山 康博）

海上の森だより』71号目次

| | |
|--|-----|
| 巻頭のことば 新春によせて | 1 |
| トピック、子ども講座「森であそぼ！」 | 2～3 |
| 他団体との交流、海上の森運営協議会・せと市民活動連絡会運営会議・あいち海上の森フォーラム・地域発！愛知県シェアリングネイチャ協会 | 3～4 |
| 海上の森の自然ノート | 5 |
| グループ活動報告 2025年9月～12月 | 6～7 |
| グループ活動予定 2026年1月～4月 | 8 |

* 1月 10日（木）四季のイベント 正月行事とドンド焼き

* 3月 28日（土）四季のイベント 里のひな祭り

何れも里山サテライト（かたりべの家）

海上の森トピック／他団体との交流

トピック

☆こども講座「森であそぼ！」に参加して

さる令和7年9月21日（日）、海上の森にて今年最後になる3回目の『森であそぼ！』が開催されました。

今年の統一テーマは、『むしっ子、あつまれ！』、今回は『夏の終わり 冒険はつづく！』。とにかく虫好きの子供対象のイベントです。

曇り空のはっきりしない天候でしたが、やがて青空に…。今回も定員を大幅に上回る 13 家族 37 名に参加頂きました。

9月になっても、海上の森では虫たちがたくさんお出迎えです。



今回も海上の森センターより特別の許可をいただき、採集した生き物はそれぞれが小さなケースや虫かごに入れてセンターまで持ち帰ります。

恒例となった『森の生き物bingo』にそれぞれのご家族がチャレンジです。

季節柄人気のクワガタの仲間は見つけられませんでしたが、ハンミョウの美しさを実感。カ

ナヘ
ビは
相変
わら
ずの
人気
です。
子供
の目



の付け所にはいつも感心させられます。

虫や色々な生き物を実際に見て、触って、探ってみる経験は、現在ではなかなか出来ないことですが、子供達にとっては、大変貴重な体験になったと思っています。

親御さんからも虫取りを通じて子供の新たな面を見出し、また来たいなどの声をいただき嬉しい限りです。

海上の森センターに戻り、探ってきた生き物たちを子供達自身で大きく分類しました。今回は種の数にこだわり 40 種以上 の種をみんなで改めて観察し森に帰しました。



最後になりましたが、色々と準備作業に携われた海上の森の会のスタッフの方々や、海上の森センター、協賛いただきました、なごや環境大学様に謝意を申し上げます。

（自然調査グループ 源田 孝）

☆他団体との交流

海上の森運営協議会

令和7年度第1回海上の森運営協議会が9月30日にあいち海上の森センターにおいて、名古屋大学教授高野雅夫氏を座長に開催されました。

1 報告事項 (ア)「令和7年度海上の森保全活動事業の取組状況について」「あいち万博記念の森として保全」「森林や里山の学習と交流の拠点づくり」「普及・情報発信」「施設整備と運営」「協働・連携の推進」に関する取組み状況の報告がなされました。

協働・連携の推進において質問が出され、企業連携について「搬出された間伐材 60 立米」の質問も出され、一部を連携企業が購入し、他は県有林材として販売する。との回答がありました。

また、海上の森の会と県との協働が気薄になって来ており、森の会として協働を進めるべきと感じました。(イ)「海上の森自然環境保全地域維持管理事

海上の森トピック／他団体との交流

業について」シデコブシの保全を始め3件の保全活動の報告がありました。「湿地の保全について」森の中に30か所ほどの湿地があったが、消滅した湿地もあると思われる所以、その対策必要との意見も出されました。

(ウ)「海上の森保全活用計画 2025 の進捗管理について」(エ)「第3次海上の森保全活用計画について」、この森の活用については、幅広い人の意見を聞く必要がある。100年先を見据えた、森林の構成に合った計画を作る必要があり里山のモデルとしてデザインすることが必要。今後、計画を実行するにあたり、人材育成が重要である旨の意見が出されました。

2 その他

(1) 自然共生サイトに認定される

環境省では「民間の取組み等によって生物多性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として認定する取組みを令和5年度から開始

海上の森は、生物多様性を維持する区域として、以下の価値が認められました。

豊かな生物多様性を育む場としての価値

重要里地里山および重要湿地が存在している。

① 希少な動植物の生息地または生育地としての価値

ムササビやホトケドジョウなど里地里山に特徴的な種やシデコブシなどの東海丘陵要素植物群と呼ばれるこの地域固有の植物をはじめ、希少な動植物が生息・生育している。

① 生態系の連結性その他生物多様性に関する

重要な機能としての価値

海上の森の東部の一部が「愛知高原国定公園」に指定されている。

(2) その後、座長より傍聴者に対し発言が許され、傍聴席より

「愛知万博における環境アセスメントは、「生態系」と「人と自然の豊かなふれあい」の2項目であった。それが海上の森でどのように展開されたかが重要である」との意見が出されました。

(高山 康博)

せと市民活動連絡会

交流フェスタ 2025 in パルティ一せと「伝統と新生のケミストリー」が、2025年10月11日(土)に行われました。

ブースでは、16団体が出展し各グループの製作品の販売や団体PR、来訪者や他グループとの情報交換を行いました。物販はあまり期待できませんでしたが、海上の森を活用している方等との意見交換は楽しかったです。少しでも活用してもらえるようにお願いをしました。

ステージプログラムでは、15団体がグループの活動報告やPR等を代表者が説明しました。むろん海上の森の会もこの地域の特殊性や設立経緯、各グループの活動内容等を説明しました。

当日は、小学校等でのイベントが多かったことや、雨が降ったこともあり参加者は少し寂しかったです。

(里山文化グループリーダー 出口なほ子)

第9回あいち海上の森フォーラム 2025

「愛・地球博20周年記念シンポジウム」他

あいち海上の森フォーラムもお蔭様で第9回を迎えることができました。今年は、愛・地球博20周年を記念して開催しましたが、多くの方にご参加、ご協力をいただき無事に終えることができました。皆様に感謝申し上げます。また、愛知県、愛知万博20周年記念事業実行委員会の後援と「あいち森と緑づくり事業」の助成を受けて実施いたしました。関係者にお礼申し上げます。



シンポジウムのようす

今回のシンポジウムは、「愛・地球博20周年記念」で「海上の森」をテーマに開催しました。名古屋大学・林 亮太先生にこれまでの研究の総まとめとして3回目となる発表をしていただきました。

海上の森トピック／他団体との交流

特別講演では、名古屋大学・高野雅夫先生の「海上の森の今・昔」で、里山の基本的な解説、海上の歴史、今後の海上の森の管理や里山にどう関わっていくかなど多くの示唆をいただきました。



パネルディスカッション

これを受け、パネリストの皆様から海上の森に関わった経緯やこれからの課題などについて議論していただきました。

また、「海上の森フォーラム顕彰事業」では2団体の方から応募があり、顕彰させていただき、「共生ネットワーク推進事業」では1団体と連携させていただきました。特別な企画として、「オリエンテーリングマップ in 海上の森」を開催し、海上の森を巡ってもらい指定したポイントでどのように感じるかの程度を回答いただきました。



オリエンテーリングマップ in 海上の森

来年（2026年）は、あいち海上の森フォーラム実行委員会の設立10周年の記念の年です。

当フォーラムでは、記念となる事業の企画を進めています。詳細は、後日ホームページに掲載します。是非ご参加ください。右のHP QRコードもご覧ください。

これからも多様な方とのつながりを深め、取組みを広く発信していきたいと考えておりますので、多くの方のご参加と、できればフォーラムの会員となっていただきますよう、宜しくお願ひ致します。（あいち海上の森フォーラム実行委員会

事務局長 浦井 巧）



地域発！関連団体のご紹介

愛知県シェアリングネイチャー協会

田中 美保子

ネイチャーゲームをご存じでしょうか？

ネイチャーゲームは、「見る」「聞く」「触る」「嗅ぐ」などの感覚を使って自然と親しみ、仲良くなるプログラムです。現在190種類以上のネイチャーゲームがあり、どこでもいつでも年齢を問わず、楽しめます。

愛知県シェアリングネイチャー協会は、(公社)日本シェアリングネイチャー協会の都道府県組織として、愛知県内のシェアリングネイチャー活動を普及啓発しています。

設立は1999年。会員数は、現在約210名です。主な活動として、一般の方の資格取得を目的としたリーダー養成講座や、指導員研修を実施しています。写真は昨年のリーダー養成講座の様子です。



＜カモフラージュ＞



＜サンセットウォッチ＞

その他、学校や自治体、企業主催の体験講座や研修へ講師を派遣しています。

また、各地域の会（とよた、とよはし、なごや）では、自然と触れ合う体験イベントを開催しています。

詳しくは、愛知県シェアリングネイチャー協会ホームページをごらんください→



ふれあい生涯まつり
(名東生涯学習センター)



セレトナフェスタ
(大府市二ツ池セレトナ)

なお、2025年度のリーダー養成講座を2026年3月28日(土)、29日(日)に大府市二ツ池セレトナで開催いたします。興味のある方は右のQRコードから、是非チェックしてください→ネイチャーゲームを体験して、もっと自然が大好きになっていたら嬉しいです。



海上の森の自然ノート

情報広報グループ 大谷 敏和

「季節の移り代わりを楽しむ」

1. 二十四節気の名前は季節の特徴を表す

年賀状に新春と書かれます。これからが寒い時期なのにどうしてだろうと思う人は多いはずです。これは旧暦の春は1月から始まる名残です。2026年の旧暦1月1日は、2月17日でこの日が新春になります。中国では春節として今でも盛大に祝います。

明治5年12月2日までカレンダーが普及していない時代は月の形をもとにした暦を使っていました。でも季節にずれが生じるので太陽の動きをもとに1年を24に分けた24節気を併用した太陰太陽暦を使っていました。24節気の名前は季節の特徴が反映されたものばかりで「立春」は春の始まりですが、旧暦の春のはじまりと少しずれています。「芒種(ぼうしゅう)」は、稻などイネ科植物の穂先にある「芒(のぎ)」のある穀物の種を蒔く時期を意味します。12支は方角や時刻などに使われる単なる記号で、24節気では冬至から割り振ります。丑と寅の境は、方角では鬼門の方向、季節では節分の日、時刻では丑三つ時の伝説の話と結びつけられます。



旧暦では新月から3日目の日付を3日としていました。月の形や傾きや見える方向から日付や季節を知ることが出来ました。

2026年の二十四節気



2. 二十四節気「清明(せいめい)」4月5日~

春分の後に来る清明は4月5日から4月19日までです。万物が若返り、清々しく明るく美しい季節です。この頃は桜の花が咲きほこり、お花見のシーズンでもあります。春の光を受けた瑞々しい景色を眺めるのもよし、葉を見上げるのも大変気持ちいいものです。海上の森でのおすすめスポットです。



2016年4月16日
海上の森入り口スペース



2008年4月20日
海上大正池



2008年4月20日
三角点から物見山



2008年4月20日
物見台入り口

3. 二十四節気「寒露(かんろ)」10月8日~

二十四節気のひとつ「寒露(かんろ)」とは、野の草花に宿る露(つゆ)が冷たい空気によって霜(しも)に変わる頃、という意味です。

さらに、本格的に農作物の収穫がはじまり、農家が繁忙を極める頃。食卓は、秋の味覚で彩られます。



里で、見られる
稻架(はさ)掛け

4. 二十四節気「小雪(しょうせつ)」11月22日~

「木の葉時雨」が示すように、小雪は落ち葉の時季でもあります。散り落ちた黄や茶、赤の葉で彩られた道を踏みしめ、散策しながら季節の歩みを楽しむのも良いかもしれません。



きれいに紅葉した
ウリカエデの葉

グループ活動報告

自然調査グループ・生物季節調査

生物季節調査（毎週木曜日）

調査日と参加人数

8月：14日9人→1回9人※猛暑により1回のみ

9月：18日8人,23日10人→2回で計18人

※祝日の23日に実施したところ新たな参加者は4人

10月：2日8人,9日9人,16日10人,23日12人,30日9人→5回で計48人

11月：6日12人,13日11人,20日8人,27日8人→4回で計39人

12月：4日13人,11日11人,18日9人,25日11人→4回で計44人

保全活動

(1) 12月5日(金)に県自然環境課、名工大増田研究室と協働で屋戸湿地保全作業を行いました(調査グループからは5名参加で、グレーチング通路内側の草刈り及び除去作業)。トウカイコモウセンゴケなどの湿地性植物の開花状況の記録を今年度から取り始めていて、今後の湿地保全活動に役立つようなデータにしていけたらと思っています。

(2) 12月11日(木)ヒナスミレ群生地のスギ枯れ枝除去作業を調査時間内に4名で行いました。



自然ウォッチング（毎月第1日曜日）

一般参加者数（スタッフ数）9月7日11名(5名)、10月5日7名(5名)、11月2日8名(4名)、12月7日5名(4名)で開催しました。



2025.10.5 キノコ先生登場！



ジムグリのお腹って、
ルイヴィトン！



ヒメツチハンミョウ♀
※ホントは素手でさわっては
いけません



オシドリを、さがせえ～

(自然調査グループ 山田 守)

里づくりグループ・里と森の教室

里と森の教室：全15回の教室開催を終えて

～世代を超えた笑顔が咲いた、海上の森の1年～

12月14日、今年度の「里と森の教室」が全日程を終了しました。集まった27家族52名の皆さんは、雨の日も熱心に足を運び、泥にまみれて一生懸命に作業に取り組んでくださいました。

なにより印象的だったのは、子どもたちの変化です。日常とは異なる自然環境のなか、アカハライモリやドジョウ、ときにはカブトムシの幼虫に出会うこともあります。最初は「虫が苦手」と話していた子が、秋の稻刈りの頃には、生き物を手のひらに乗せて満面の笑みを浮かべている。非日常の体験を通じて、子どもたちの感性が逞しく育っていく姿を目の当たりにしました。稻刈りやサツマイモ掘り、そして収穫感謝祭。その一つひとつが、忘れられない時間となりました。感謝祭では、自分たちの手で刈り取ったもち米を蒸し、計22臼のお餅をつきました。はじめは重い杵に振り回されていた子どもたちや、腰の定まらなかった大人も、最後は驚くほど頼もしい手つきに。畑で採れた里芋たっぷりの豚汁や、ドラム缶で焼いた石焼き芋、そしてつきたてのお餅。その美味しさは、日常では決して味わえない、自然の恵みそのものでした。

この教室は、海上の森の素晴らしい五感を感じ、6歳から80代までが世代を超えて触れあう大切なコミュニティです。そこに生まれる笑顔や助けあいの姿には、いつも温かな愛があふれていました。

こうした活動を継続できるのも、地道に支えてくださる「海上の森の会」スタッフの皆さんのおかげです。私自身、この場所で先輩や仲間から多くのことを学び、自らの生き方を考える機会もいただきました。



(里づくりグループ 和田健裕)

グループ活動報告

森づくりグループ・森林（もり）づくり

通常の活動として、海上の森健全化 10 年プロジェクトに基づき、あいち森と緑づくり環境活動学習推進事業の助成を受けながら 5.66ha の人工林の間伐作業を行ってきました。令和 7 年度は、改めて樹林調査や測量に基づき 5 ゾーンの間伐届を提出し、人工林のヒノキの 2 割程度 70 本余りを間伐する計画を立て、現在 10cm から 20cm 径のヒノキを 50 本程度間伐することができました。その間、森林管理研修を実施し、安全作業に努め、ベテランメンバーによる中堅女性メンバーへの指導で間伐技術の継承が図られ、海上の森の整備が進んでいます。



万博 20 周年イベント

本年は、万博 20 周年にあたり、モリコロパークで記念イベントが開催され、海上の森の会として参加しました。4 月 29 日 11 名、5 月 4 日 8 名、6 月 15 日 10 名と多くのスタッフの参加で、どんぐりストラップ、花華アート、ヒノキ材置時計、丸太切体験、オニヤンマづくりなどを多くの来場者に楽しんでもらいました。

あいち森と緑づくり体感ツアー



10 月 25 日には、あいち森と緑づくり推進事業の関係から、あいち植樹祭 6 周年記念イベントに協力することになり、海上の森センターと自然調査グループと一緒に 60 名ほどの一般の方を対象に、遊歩施設の散策や丸太切体験などを行い、楽しんでいただきました。

サトラボ収穫祭

秋には恒例のモリコロパークで開催される愛知サトラボ里山開拓団が主催するサトラボ収穫祭（11 月 8 日）に 17 名のスタッフで参加しました。毎年好評の石焼き芋体験では 150 個余の焼芋を皆さんに提供することができました。トンボづくり、松ぼっくりツリー、鉛筆立て、どんぐりストラップ、



缶バッヂ、壁掛け、置時計、しめ縄づくり、丸太切体験など少し多すぎたようでスタッフの皆さんには大変でしたが、多くの来場者には喜んでいただけたように思います。

現在検討されている「海上の森保全活用計画 2035」の状況を見ながら、これからも、海上の森を整備するとともに、皆さんに海上の森の会の活動をより知っていただくよう、努めていきたいと思います。

木工芸教室

毎年少しづつ参加者が増えて現在 23 名のメンバーで木工芸作業を楽しんでいます。

（毎月第 1 第 3 水曜日午前中センター 2 階工作室）



（森づくりグループ 稲熊 正行）

里山文化グループ・里のくらし 収穫感謝祭

今年は里も収穫物をいただきまして活動が出来ました。教室の最後の日は「シメ縄」づくりを体験していただきました。最後は「サテライト」の大掃除をしていただき終了しました。ありがとうございました。



（里山文化グループ 出口 なほ子）

収穫祭の朝サテライト周辺では霜が降り、ひんやりと澄みわたる一日で始まりました。

2025 年の夏は、記録的な猛暑。そんななか沢山の汗と労力・愛情をタップリ受けた「うるち米、餅米、さつまいも、里芋、大根、にんじん、ネギ、椎茸等々」は、裏切ることなく立派に実ってくれました。彼等は、子供達の頑張りと大人達の活躍のもと「ちぎり餅、芋煮、おにぎり、焼き芋、ふかし芋」に美味しく変身してくれました。こうして穏やかな小春日和のもと総勢 72 名の大盛況で、無事収穫祭を終える事ができました。きっと子供達も自然の豊かさや伝統、人と人との交流の楽しさを大人になっても忘れない事でしょう。又、携わったスタッフ一同も心地よい疲労感に浸れる大満足の一日となりました。 ありがとう。そして、感謝。

（情報広報グループ 原田 宏美）

海上の森の会 活動予定 2026年1月～4月

| 月 | 活動 | 活動日 | 時間 | 集合場所 | 担当 |
|---|---|----------------------------------|------------------------|-------------|------|
| 1 | 生物季節調査 | 8,15,22,29 各木曜日 | 9:30～14:00 | 入口 P、センター P | 自然調査 |
| | 田の整備 | 4(日),11(日),18(日) | 9:00～12:00 | 里の作業小屋 | 里づくり |
| | 森林づくり(間伐作業) | 6(火),17(土),20(火) | 9:00～15:00 | 製材小屋 | 森づくり |
| | ★木工芸教室(作品製作) ノコギリ、彫刻刀(ノミ) | 7(水),21(水) | 9:00～12:00 | 工作室 | 森づくり |
| | ★四季のイベント・正月行事とドンド焼き | 10(土) | 10:00～14:00 | 里山サテライト | 里山文化 |
| | 推進会議 | 24(土) | 8:30～15:00 | 協働推進室 | 理事長 |
| 2 | 生物季節調査 | 5,12,19,26 各木曜日 | 9:30～14:00 | 入口 P、センター P | 自然調査 |
| | 企業連携 CKD | 14(土) | | | |
| | 田,畑,水路整備,田のケイカル散布,田の耕耘,シイタケの菌打ち,水路整備,タマネギ追肥 | 1,8,15,22 各日曜日,28(土) 22は9:00～ | 8:30～12:00 22は9:00～ | 里の作業小屋 | 里づくり |
| | 森林づくり(間伐作業) | 7(土),10(火),21(土),24(火) | 9:00～15:00 | 製材小屋 | 森づくり |
| | ★木工芸教室(作品製作) ノコギリ、彫刻刀(ノミ) | 4(水),18(水) | 9:00～12:00 | 工作室 | 森づくり |
| | 推進会議 | 28(土) | 13:00～15:00 | 協働推進室 1 | 理事長 |
| 3 | 生物季節調査 | 5,12,19,26 各木曜の日 | 9:30～14:00 | 入口 P、センター P | 自然調査 |
| | ★自然ウォッチング 申込不要 | 1(日) | 9:30～14:00 | 入口 P | 自然調査 |
| | 畑の耕耘,スナップの植付,ジャガイモの植え付け | 8(日),15(日),22(日) | 8:30～12:00 | 里の作業小屋 | 里づくり |
| | 森林づくり(間伐作業) | 7(土),10(火),21(土),24(火) | 9:00～15:00 | 製材小屋 | 森づくり |
| | ★木工芸教室(作品製作) ノコギリ、彫刻刀(ノミ) | 4(水),18(水) | 9:00～12:00 | 工作室 | 森づくり |
| | ★四季のイベント・里のひな祭り | 28(土) | 9:00～14:00 | 里山サテライト | 里山文化 |
| 4 | 生物季節調査 | 2,9,16,23,30 各木曜日 | 9:30～14:00 | 入口 P、センター P | 自然調査 |
| | ★自然ウォッチング 申込不要 | 5(日) | 9:30～14:00 | 入口 P | 自然調査 |
| | 耕地管理(未定) | | | 里の作業小屋 | 里づくり |
| | 森林づくり(間伐作業) | 4(土),7(火),18(土),21(火) | 9:00～15:00 | 製材小屋 | 森づくり |
| | ★木工芸教室(作品製作) ノコギリ、彫刻刀(ノミ) | 1(水),15(水) | 9:00～12:00 | 工作室 | 森づくり |
| | 推進会議 | 25(土) | 13:00～15:00 | 協働推進室 | 理事長 |

※海上の森センター主催 一般公募行事 詳細はチラシ参照 申込先 海上の森の会

・里と森の教室は全14回セットの参加です(他に自主参加日を設けることがあります)。持ち物 弁当・飲料水
★会員外参加可能行事(要確認) 四季のイベントの持ち物(通常の場合) 飲み物 エプロン ゴミ袋等

| | | |
|--|--|--|
| 特定非営利活動法人 海上の森の会 理事長 高山 康博 編集長 伊藤 良吉 連絡先:〒489-0857 愛知県瀬戸市吉野町 304-1 あいち海上の森センター3F | 年会費(4月～翌3月) 1口 1,000 円 郵便振込 00820-6-185628 特定非営利活動法人 海上の森の会 問い合わせ時間、火～金、9時より12時まで | 海上の森の会 検索 Home Page / Instagram   |
|--|--|--|